

抗ウイルス・抗菌タイプ補助手すり

ソフトハンドP-30M/P-30V

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。お読みになったあとも、すぐに出せる場所に大切に保管してください。

用語および記号、絵表記の説明		
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。	
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。	
 注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。	 禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。	 行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。

 警告	
 必ず実行	強度のある壁や建築構造体に取り付ける 土壁や石膏ボード壁などの強度の弱い壁に手すりを取付けると、壁が壊れて手すりが外れ、使用者が転倒しケガをするおそれがあります。このような場合は壁に合わせた下地補強を行い、手すりを取付けてください。
 必ず実行	指定の固定金具(アンカー)を使用する 本来の性能や強度が出せず、手すりの破損や脱落につながり、使用者が転倒しケガをするおそれがあります。
 必ず実行	取付完了後、手すりにガタツキが無いことを確認する 手すりの破損や脱落につながり、使用者が転倒しケガをするおそれがあります。
 必ず実行	手すりに異常やガタツキがないか定期的に点検し、異常がある場合は使用を中止する 手すりに異常があると使用者がケガをするおそれがありますので、すみやかに修理を依頼してください。
 必ず実行	手や手すりがぬれていたり、石けんがついている場合は手を滑らせないように十分注意する 転倒など重大事故につながるおそれがあります。
 必ず実行	介助が必要な使用者の場合、介助者は手すりのつかみ損ねなどが発生しないよう十分注意する 転倒など重大事故につながるおそれがあります。
 必ず実行	手すりと壁の間に、手や腕を挟まないよう十分注意する 重大事故につながるおそれがあります。
 注意	
 禁止	手すり以外の用途に使わない 壁や手すりの破損・脱落につながります。
 禁止	強い衝撃は与えない 壁や手すりの破損・脱落につながります。
 禁止	手すりには、許容以上の力を加えない 手すりの最大荷重は垂直・水平590N(約60kgf)です。これ以上の力を加えると、手すりの変形やガタツキの原因になります。
 禁止	製品の分解・改造はしない 本来の性能や強度の低下を招き、手すりの破損や脱落につながります。
 裸火厳禁	たばこなどの火を近づけない 手すりが焦げたり溶けたり変色するおそれがあります。

施工上の注意事項

- 本手すりは防カビ仕様ではないため、浴室に取り付けるとカビが発生するおそれがあります。
- 本手すりを浴室に取り付ける場合は、浴室仕様（防カビ効果あり）である No.00 ホワイト色を使用してください。
- No.00 ホワイト色は抗ウイルス仕様ではありません。（抗菌効果はあります）

お手入れ方法

 **定期的な清掃をする**

手すり表面はいつもきれいな状態を保ってください。表面が汚れていると抗ウイルス・抗菌効果が発揮されない場合があります。

☐ ふだんはやわらかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭き、その後水拭きをしてください。

☐ クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンタワシなどの傷を付けやすいものは使用しないでください。

☐ 酸性、アルカリ性洗剤はつやを失ったり変色するので使用しないでください。付着した場合はすぐ水洗いをしてください。

☐ シンナーやベンジンなどの溶剤は使用しないでください。

日常のお手入れで落ちない汚れの場合には、下記の要領でお手入れしてください。

油、クレヨン等の汚れ異物の付着

擦り傷・切り傷

家庭用洗剤、強力洗剤（柑橘類洗剤）などを用いて拭きとってください。頑固な汚れは推奨品のクリームクレンザーで拭き取ってください。

サンドペーパー、ツヤ出し剤を用いて仕上げてください。

- 洗剤を使用する場合は、柔らかい布を中性洗剤の 1～2%の水溶液に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に水拭きと空拭きを行い、洗剤分が手すり表面に残らないようにしてください。
- クリームクレンザーは、擦りすぎると光沢が落ちますので注意してください。光沢が落ちた場合は、ツヤだし剤を付けた布で拭き、光沢を回復させてください。

- サンドペーパーは、粗目から細目（＃120→＃240～＃400→＃1000）の順に擦って仕上げてください。サンドペーパーで落ちた光沢は、ツヤ出し剤を付けた布で光沢を回復させてください。

推奨品

- 家庭用洗剤
マイペット（花王）
マジックリン（花王）



- 強力洗剤
オレンジース（ダイキョー）
オレンジマン（yuwa）



- クリームクレンザー
ホーミングタフ（花王）
ジフ（日本リーバ）



- ツヤ出し剤
リンレイ all ワックス（リンレイ）
- サンドペーパー
紙ヤスリ（ホームセンタ等で購入）
粗目：＃120
細目：＃240～＃400、＃1000



お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

 **ナカ工業株式会社**

URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>

 **ナカ・テクノナタル株式会社**

URL <https://www.naka-techno.co.jp>



左のQRコードから
当社ホームページの
問い合わせ先一覧へ
アクセスできます。

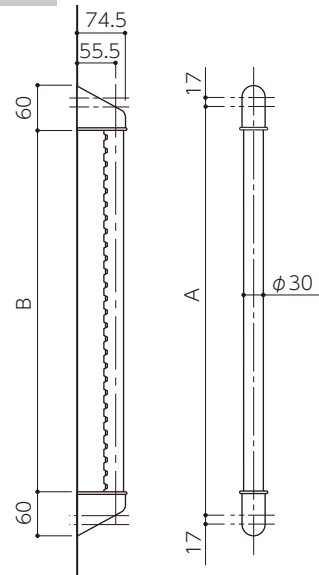
●商品改良のため、記載内容については予告なしに変更することがありますのでご了承ください。●無断転載を禁じます。

H098式取一般-30V-6型

製品寸法

○のジョイント部分は、現場で組立てをおこないます。

I 型



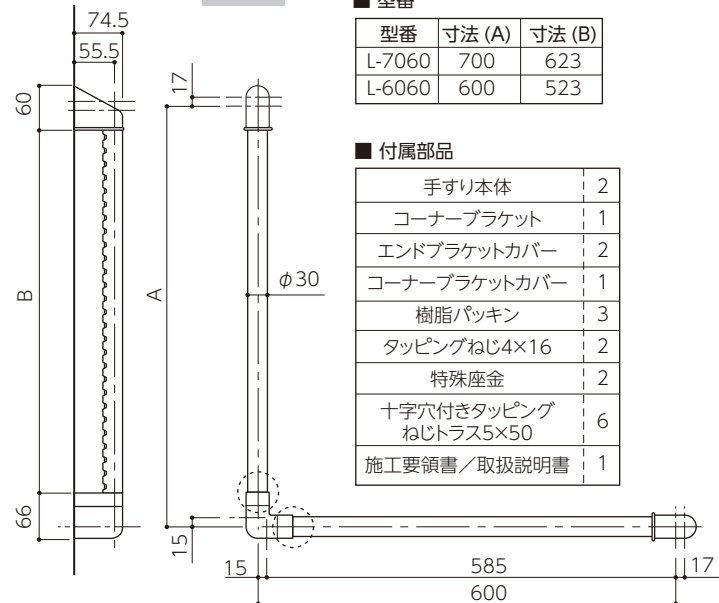
■ 型番

型番	寸法 (A)	寸法 (B)
I-40	400	341
I-50	500	441
I-60	600	541
I-80	800	741

■ 付属部品

手すり本体	1
エンドブラケットカバー	2
樹脂パッキン	2
十字穴付きタッピング ねじトラス5×50	4
施工要領書／取扱説明書	1

L 型



■ 型番

型番	寸法 (A)	寸法 (B)
L-7060	700	623
L-6060	600	523

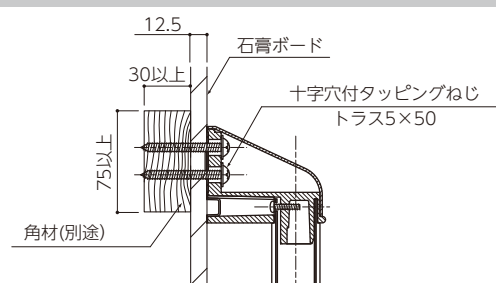
■ 付属部品

手すり本体	2
コーナーブラケット	1
エンドブラケットカバー	2
コーナーブラケットカバー	1
樹脂パッキン	3
タッピングねじ4×16	2
特殊座金	2
十字穴付きタッピング ねじトラス5×50	6
施工要領書／取扱説明書	1

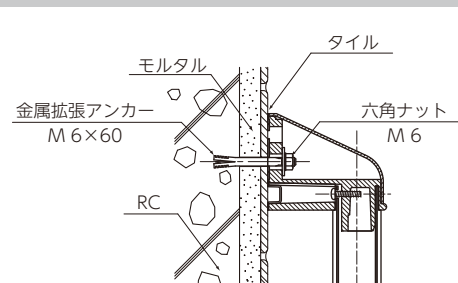
取付例

下記の取付例は一例です。取付けに使用するアンカー（十字穴付タッピングねじトラス）は付属品です。他のアンカーについては、別途ご用意ください。（別売）

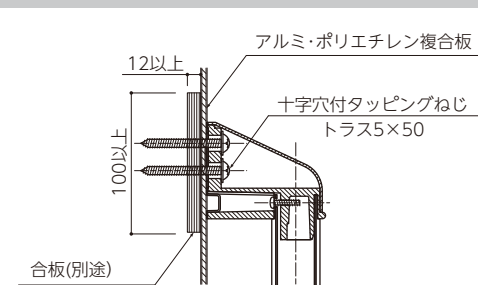
角材 + 石膏ボード



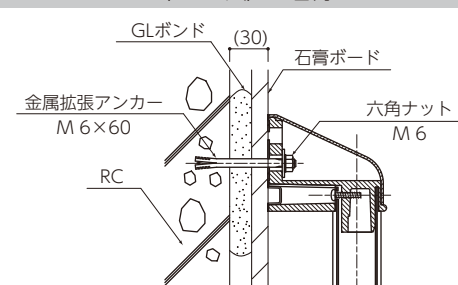
RC+ モルタル + タイル



合板 + アルミ・ポリエチレン複合板壁



RC (GL 工法) + 石膏ボード



取付方法

付属の取付アンカーを使用する場合

部品と製品タイプの確認

製品は、I型タイプとL型タイプがあります。製品寸法を参照し、作業前にタイプ、型番、及び付属部品を確認してください。取付例を参照し、下地に適したアンカーを使用して施工してください。

■ 必要工具

電動ドリル／ドリルの刃（φ4）／プラスドライバー

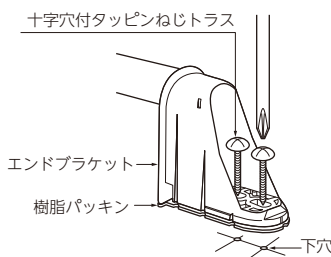
下穴あけ

製品寸法を参照して墨出しをおこない、φ4mm×深さ55mmの下穴をあける。

エンド部分

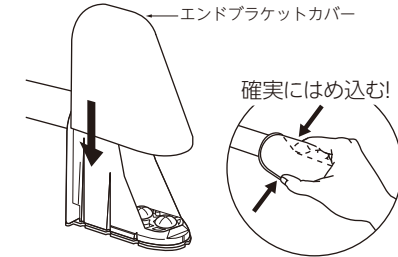
※L型タイプは、ジョイント部分の作業を先におこないます。

1 ブラケットの固定



樹脂パッキンをエンドブラケットにはめ込み、下穴にねじ穴を合わせ、十字穴付きタッピングねじトラスで壁に確実に固定し、グラツキが無いことを確認する。

2 カバーの取付

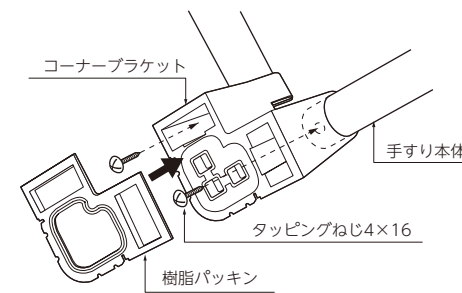


エンドブラケットの上方より、エンドブラケットカバーを挿入する。エンドブラケットカバーの両サイドを押さえ、エンドブラケットに確実にめ込む。

ジョイント部分

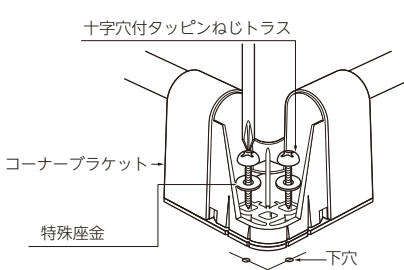
※L型タイプのみ

1 手すり本体とコーナーブラケットのジョイント



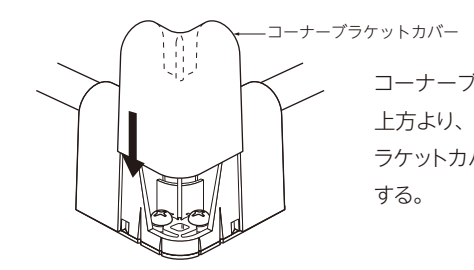
コーナーブラケットと手すり本体のねじ穴を合わせるように、手すり本体をコーナーブラケットにさしこみタッピングねじで確実に固定し、グラツキが無い事を確認する。その後、コーナーブラケットに樹脂パッキンをめ込む。

2 ブラケットの固定



ねじ穴を下穴に合わせ、特殊座金、タッピングねじトラスの順で、壁に確実に固定し、グラツキが無いことを確認する。

3 カバーの取付



⚠ 注意

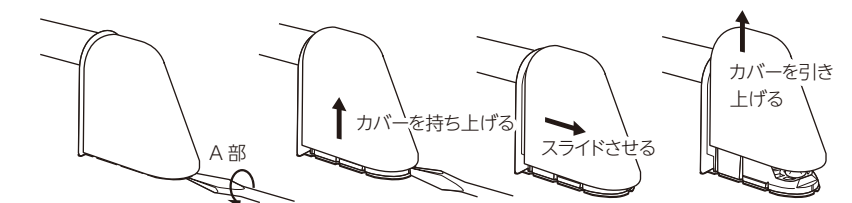
❗ 必ず実行

ブラケットカバーは、いたずら防止のため、一度取付けると外れにくい構造となっています。ブラケットカバーの取付は、手すりが確実に固定されていることを確認した後に、おこなってください。

カバーの取外し方法

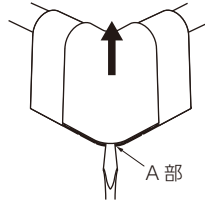
エンドブラケットカバー

エンドブラケットカバーのA部と壁との隙間に先端が薄いマイナスドライバー等を挿入し、エンドブラケットカバーを上方に約5mm持ち上げ、右図の要領で取り外す。

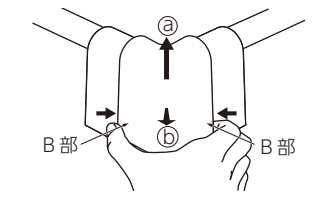


コーナーブラケットカバー

1 コーナーブラケットカバーのA部と壁との隙間に、先端が薄いマイナスドライバー等を挿入し、コーナーブラケットカバーを上方に持ち上げる。



2 コーナーブラケットカバーの下端部(B部)を指で持ち⑥方向に引きながら上方(③方向)にコーナーブラケットカバーを持ち上げて、コーナーブラケットからコーナーブラケットカバーを取り外す。



⚠ 注意

❗ 禁止

カバーの取外しは、修理業者以外の人は行わないでください。カバーのつめが折れ、はまらなくなるおそれがあります。